

アルコンの
お悩み相談所

教えて、ドクター！

眼に関する悩みや不安を抱えている皆さまの相談に、医療現場の最前線で活躍する現役のドクターがお答えします。



夜になると光が眩しくて
見えづらいんです。(70代・男性)

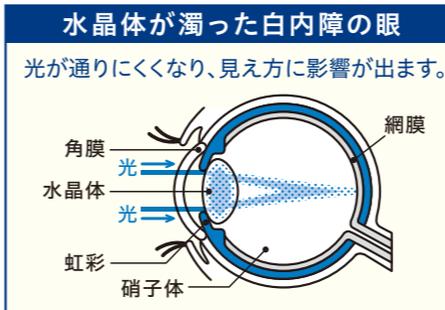
60歳以降に顕著に増える 白内障の可能性ががあります。

白内障は、カメラのレンズに相当する眼球内の水晶体が、主に加齢によって濁る病気です。白内障にかかると、光を眩しく感じる、視界がかすむ等の症状が表れ、視力も低下してしまいます。治療するには、濁った水晶体の代わりに人工の眼内レンズを挿入する手術が必要です。眼の手術と聞くと怖がる方が多いのですが、安心してください。白内障手術は技術的に目覚ましく進歩しており、安全性の高い手術のひとつです。手術中は点眼麻酔をするので痛みはほとんどありませんし、顕微鏡の光で眩しいためメスが見えて怖くなる心配もありません。切開

*3焦点レンズは遠・中・近の3つの距離に焦点が合い、老眼になる前の自然な見え方に近いことから「3焦点自然視覚レンズ」とも呼ばれています。*2焦点レンズ及び3焦点自然視覚レンズは2つ、もしくは3つの焦点距離にあるものを、同時にクリアに見られますが、焦点距離のものであっても、単焦点レンズほどクリアな視界は得られません。また、強い光を眩しく感じる場合があります。*焦点があっているところでも、場合によっては眼鏡が必要なことがあります。

する箇所も約2.2mm~2.4mmと小さく縫合も必要ないため、手術後の回復も早いです。眼内レンズは、近距離(約40cm)、中間距離(約60cm)、遠距離(5m以上)という合わせられる焦点の数によって、単焦点・2焦点・3焦点の中から選びます。

中でも、「Quality of Vision(視覚の質)」の向上につながると注目されているのが、遠・中・近の3つに焦点が合う「3焦点自然視覚レンズ*」です。眼鏡をかけなくても、手元にも遠くにも中間の距離にもピントが合うため、「日常生活を眼鏡なしで快適に過ごせる」と多くの方に喜ばれています。人間は情報の約8割を視覚から得ていると言われており、視覚をクリアに見える状態に保つことは、趣味や旅行等をアクティブに楽しみ、人生をより豊かに過ごすことにもつながります。白内障の自覚症状がある場合には、お早めに眼科専門医にご相談ください。



白内障を
治療することは、
より豊かな人生に
つながります。



さだまつ眼科クリニック 院長
貞松 良成 先生

先進的な眼科医療に取り組む眼科手術のエキスパート。順天堂大学医学部卒。順天堂伊豆長岡病院、順天堂大学病院、成田記念病院等を経て、2002年さだまつ眼科クリニックの院長に就任。

Alcon

白内障? と思ったら。

ウェブサイトで
詳しく知る

わかる! 白内障 検索



ウェブサイトに関する
お問い合わせはこちら

さんさん はく ない

0120-33-8971